



進路だより

第10号 令和7年12月5日
宮城県立石巻支援学校
進路指導部発行

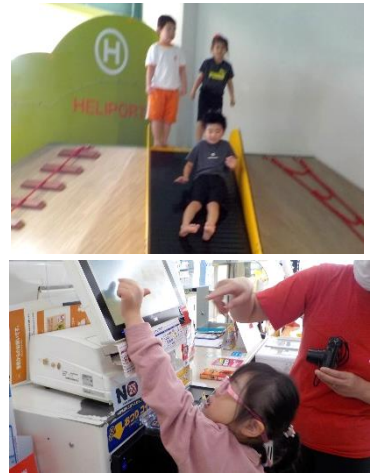
保護者の皆様には、本校の進路指導に関しまして日頃より御理解と御協力をいただきまして、ありがとうございます。高等部では、後期の現場実習が終わり、3年生はいよいよ具体的な進路先の検討が行われています。

さて、今号の進路だよりでは、各学部の進路指導に関係の深い学習を紹介しています。「発達段階における育てたい力」につきましては、「進路の手引き」を御覧ください。

小学部 1年生「校外学習に行こう」

小学部1年生は、9月に「KIBOTCHA(キボッチャ)」へ、10月に「ミニストップ」へ校外学習に行ってきました。「KIBOTCHA(キボッチャ)」では、室内遊具がたくさんあり、友達や先生と一緒に仲良く遊びました。安全に遊んだり、順番を守ったり、約束を守りながら楽しみました。「ミニストップ」では、交通安全に気を付けながら、みんなで歩いて向かいました。一人一つ好きなお菓子を選んでレジに並び、上手に買い物ができました。

入学して初めての校外学習でしたが、集団行動や約束・きまり、金銭のやりとりなど多くのことを学び、たくさん成長しました。



中学部 3年生「修学旅行」

9月15日から17日までの3日間、東京・千葉方面へ修学旅行に行ってきました。事前学習では、見学先のルールやマナー、公共交通機関の利用、ホテルでの過ごし方の学習に取り組みしました。

初日はバスや新幹線、地下鉄、水上バス、電車など7つの公共交通機関を乗り継いでホテルまで行きました。その中で、座席がない場合は立ったまま乗ること、座ったら荷物は自分のひざの上に乗せることなど普段の生活では経験できないような場面でも、みんなで声を掛け合いながらがんばって行動することができました。また、脱いだ服を畳んで片付けたり次の日に着る服を用意したりなど、「自分のことは自分でしよう」という目標を意識して取り組もうとする姿が見られました。今後の学校生活でも、自分でできそうなことに進んで取り組み、お互いの頑張りを認め合いながら、社会で「生きる力」を身に付けていけるように支援したいと思います。



高等部「後期校内実習・現場実習」

10月14日(火)～10月31日(金)までの3週間、生徒一人一人、それぞれの進路目標達成に向けて、実習に取り組んできました。1年生は、初めての施設・事業所等での実習ということもあり、緊張しながら臨みました。

今回の実習を通して、1年生は働くことの楽しさや大変さを実感し、2年生は働くことへの自信を高めることができました。3年生にとっては進路選択のための大切な実習になったことと思います。

実習後は達成感に満ちた表情で学校生活に戻り、報告会では実習の様子の写真を見ながら友達と相互に称賛し合い、「次回の実習ではここに行ってみたい。」と述べるなど、前向きな様子が見られました。



後期現場実習を終えて～実習先の方からのお話～



生活介護事業所の方から

【良い点】

- ・先生がそばについていなくても、利用者と共に活動できた。
- ・実習先の職員の声掛けに素直に応じて取り組めた。
- ・気持ちが不安定になっても自分で気持ちの切り替えをして活動に戻ることができた。

【これから身に付けてほしいこと】

- ・自分でできることを増やしてほしい。
- ・休憩時間を席に座り一人で落ち着いて過ごせるようになってほしい。
- ・特定の人だけでなく、誰とも関わられるように、誰からの声掛けにも応じられるようになってほしい。

現場実習後、実習先の方からお話を受けたことの内容から一部をお伝えします。【これから身に付けてほしいこと】は高等部だけでなく、小学部、中学部の段階から意識して身に付けておきたいことです。

就労継続支援A型事業所の方から

【良い点】

- ・休まずに通勤し、毎朝元気に挨拶した。
- ・初めての自力通勤にチャレンジした。

【これから身に付けてほしいこと】

- ・1時間に行う量が決まっている。その達成を目指して正確に速く行うことが必要。普段からスピードを意識して作業を行えるようになってほしい。

就労継続支援B型事業所の方から

【良い点】

- ・元気に休まずに通うことができた。
- ・どの仕事にも意欲的に取り組んだ。
- ・周囲の様子を見て真似をして仕事に取り組んだ。
- ・利用者の中にすっかり馴染んだ様子だった。

【これから身に付けてほしいこと】

- ・個別対応はできない。個別に声掛けがなくても、周囲の流れに合わせて、スムーズに仕事へ取り組めるようになってほしい。
- ・学校と違い、3時過ぎまで仕事をする。午後も集中して取り組めるようになってほしい。
- ・働く場であることを意識して仕事に取り組んでほしい。

一般企業の方から

【良い点】

- ・毎朝「おはようございます！ 今日もしっかりお願いします！」と元気に挨拶した。
- ・周囲の動きをよく見ていて、自分でやることを見つけて動くことができた。

【これから身に付けてほしいこと】

- ・自分でできたと思ったことでも実際には完了していない状態だった。掃除をするにしても、雑巾をきっちり絞ることや隅々まで掃く・拭くなど、学校でできる範囲で、他の人から見ても「できた」状態にできるよう学んでほしい。

未来へステップ！

前期と後期の2回、介護等体験や教育実習が行われました。

子ども達にとってもいつもの友達や先生に加えて、教室に新しい出会いが訪れました。最初はお互い緊張していても、一緒に過ごす時間が増えるにつれて笑顔も増えていきます。いつもと同じ課題でもいつもより声援が多くて、できたらたくさんの「がんばったね」「できたね」の声にちょっとうれしくなることもあります。いつもの学校生活に新しい関わりが増え、お別れは少し寂しい気持ちになる、そんな経験を積み重ねています。

